


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年11月12日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第9号	質問議員	8番	清水 明	
件名	声なき声が届いていますか				
要 旨					
<p>だれにとっても住みやすい町づくりを掲げる山北町は、これといった人権問題もなく経過していることに、町長をはじめとする町職員の努力に敬意を表するところです。定期的に行われている人権相談でも相談件数が少ないということで、町民のひとりとして喜ばしく思っています。</p> <p>ただ、全国的な調査をみると、一例をあげればLGBTQ+（性的少数者：セクシャルマイノリティ）は統計的に人口の8%が存在すると言われていいます。山北町にあてはめるとおよそ800人弱が存在することになります。</p> <p>実態がどうなのか、声なき声を聞き取るのも行政、議会の役割と思い、いくつかの問題を取り上げます。</p> <ol style="list-style-type: none">1 パートナーシップ制度が南足柄市、大井町、松田町で実施されています。このままでは世の中の流れに取り残される恐れがありますが、山北町では実施の有無について検討がされているでしょうか。2 日本語を母国語としない外国の方々が山北町に居住、通勤されていますが、フォローについてどのように取り組まれていますか。3 ここ数年、話題にのぼっている「ヤングケアラー」について実態を把握されていますか。把握されているとしたら、どのような方法で把握しているのか、また、なんらか対応すべきことが生じているのでしょうか。					